

緑化協会販売する

腐葉土ができるまで

……職員😊と落葉🍂のお話し……



秋から冬、公園の落葉は緑化協会職員や公園愛護会の手で集められ、腐葉土として適している落葉だけを選別して米ぬかを混ぜ、日野中央公園のストックヤードに集積されます。



- 😊 「さあ、今年もいい腐葉土になってくれよ！」
- 🍂 「うん、美味しい米ぬかも入れてもらったし、丈夫なお家もあるし、ぼく頑張るよ！」
- 🍂 「私も～～」

一年後、更に米ぬかを加えながら隣のストックヤードに移し、もう一年熟成させます。



- 😊 「一年経ったから、お引越しだよ。息がよくなるように掻き回して、また米ぬかも入れるからね。」
- 🍂 「うわあ～ねむい！もう一年経ったの？じゃあもう一年がんばるよ！美味しい米ぬかをありがとう。」

最初の集積から二年後、しっかりと熟成した落葉は日野中央公園のストックヤードから、職員の作業場である第四苗圃のビニールハウスに移されます。



- 😊 「さあ、二年経ったから完成だよ。君たちの間に隠れている石やビニールなどの異物を取り除いて、もっと綺麗な腐葉土にするからね。」
- 🍂 「うん、ありがとう。お別れだね！これからは買ってくれた人が喜んでくれるように、お庭や畑、鉢やプランターで植物や野菜のために一生懸命に働くね。」

職員の手で丁寧に異物を取り除いた腐葉土は、袋詰めして緑化協会事務所で販売します。

